

★ 噴流やノズルの配置、風の流れなど最適な乾燥設備の条件設定を詳しく解説します！



フィルムの乾燥と プロセスの最適化、トラブル対策

●日時：2025年1月21日(火) 10:30～16:30 ●聴講料：1名につき 55,000円（消費税込、資料付）
 ●会場：Zoomを使用したLive配信セミナーです。〔1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき49,500円(税込)〕
 勤務先やご自宅のパソコンでご視聴ください。〔大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。〕

●講師：AndanTEC 代表 **浜本 伸夫** 氏

- | | |
|--|--|
| <p>1. はじめに</p> <p>2. 【基礎編】乾燥設備と溶媒の寄与</p> <p>2.1 乾燥風の供給方法</p> <p>2.2 乾燥風の吹き出し方式</p> <p>2.3 溶媒の寄与 (水と他の溶媒の違い)</p> <p>2.4 乾燥に関わる物性値</p> <p>2.5 水系の乾燥速度</p> <p>2.6 塗膜の表面温度は湿球温度 (空気線図)</p> <p>2.7 比エンタルピー(=潜熱+顕熱)</p> <p>2.8 水と他の溶媒との違い (1) 蒸発潜熱</p> <p>2.9 他の溶媒との違い (2)飽和蒸気圧と温度</p> <p>2.10 各溶媒の空気線図</p> <p>2.11 等湿球温度線</p> <p>3. 定率期間と減率期間</p> <p>3.1 限界含水率と固形分濃度</p> <p>3.2 乾燥中の膜内の溶媒移動</p> <p>4. 【演習】乾燥計算の練習 (第1ラウンド)</p> <p>5. 減率乾燥速度</p> <p>5.1 簡易計算法 (乾燥係数 $N=1/2\sim 2/3$)</p> <p>5.2 乾燥係数を$N=1$にすると?(収束しない)</p> <p>5.3 減率乾燥を実測で見積もるために</p> <p>5.4 減率乾燥を実測で見積もる手順</p> <p>5.5 水系の限界点・仮想点・乾燥点 (PVA水溶液)</p> <p>5.6 単溶剤系の乾燥速度 (親水/疎水性と温度)</p> <p>5.7 2成分系の減率乾燥の挙動</p> <p>5.8 共沸混合物の乾燥</p> <p>6. 乾燥設備</p> <p>6.1 一般的な構成 (予熱・加熱・絶乾・冷却)</p> <p>6.2 乾燥方式と伝熱係数</p> <p>6.3 各方式の能力比較</p> <p>6.4 乾燥効率の支配因子 (噴流)</p> <p>6.5 噴流の距離と減衰</p> <p>6.6 多孔板と二次元ノズル</p> <p>6.7 幅要因 (どこで排気するか?)</p> | <p>6.8 風の分配と風向 (傾斜ノズル)</p> <p>6.9 フローティング (浮上系)</p> <p>7. 【演習】乾燥方式と必要な炉長 (第2ラウンド)</p> <p>8. 乾燥起因の面状トラブルと対策</p> <p>8.1 ベナールセル(ゆず肌)</p> <p>8.2 ベナールセル(マランゴニ効果に影響する物性)</p> <p>8.3 ベナールセル (マランゴニ数による診断)</p> <p>8.4 ハジキ (メカニズム)</p> <p>8.5 クリーン化による異物対策</p> <p>8.6 クリーン度を維持する換気と風速</p> <p>8.7 塗工室の換気が誘発する風ムラ</p> <p>8.8 レベリングの理論(Orchard 式)</p> <p>8.9 塗工室の換気による風ムラのレベリング</p> <p>8.10 塗工室のクリーン化に必要な換気頻度</p> <p>8.11 工程クリーン度の診断</p> <p>8.12 工程クリーン度の診断例</p> <p>8.13 塗工室と前後ゾーンの
圧力バランス、気流シミュレーション</p> <p>8.14 塗工室前後の差圧の影響</p> <p>8.15 気流の履歴</p> <p>8.16 乾燥初期の風ムラ</p> <p>8.17 下向き塗工面による風ムラ対策 (密度流)</p> <p>8.18 レベリング (基板の凹凸ムラ)</p> <p>8.19 乾燥中の発泡トラブル対策</p> <p>8.20 白化現象の原因と対策</p> <p>9. 調湿(膜中の残留溶媒の調整)</p> <p>9.1 残留溶媒の調整 (絶乾と調湿)</p> <p>9.2 調湿時の含水率履歴</p> <p>9.3 調湿曲線の表現方法</p> <p>9.4 平衡含水率と湿度</p> <p>9.5 調湿の支配因子
(風速に依存せず、湿度と温度に依存)</p> |
|--|--|

【質疑応答】

講師紹介割引申込書

「フィルム乾燥」セミナー No.501233 1/21

- ・講師からの紹介として、聴講料を2割引きいたします。
- ・2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。
- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX (03-5436-7745) にてお申込みください。
- ・当社 (技術情報協会) への直接のお申込みに限り、割引を適用いたします。

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	FAX		
	所属部課	氏名 (フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください (現在案内が届いている方も再度ご指示ください) 〔 郵送(宅配便)・FAX・e-mail 〕			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため		・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため	
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			



申込専用FAX 03-5436-7745

●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。

受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
4. 定員になり次第、申込みは締切となります。